

## 2/28 東京マラソン完走記

東京マラソンといえば毎年テレビなど報道でも大きく取り上げられていますが、普段は交通量が非常に多いため走ることができない日本の首都・東京の各所をまわるコースとなっており、応募倍率が10倍を超える非常に人気のあるマラソン大会です。ランニングが趣味の私にとってもいつかは出場したい夢のレースでした。そんな東京マラソンの法人寄付プログラムに会社が参加し、私が我が社代表のチャリティーランナーとして同大会に参加してきました。



レースに先立ちトレーニングに励んでいたのですが、踵に水がたまるケガに見舞われ、トレーニングを予定通り消化できず不安を抱えたままレース当日を迎ましたが、当日は天気も快晴で絶好のマラソン日和になり、傷めた足もレース中は何とかもってくれて、ネットタイム(スタートラインを通過してからゴールラインを通過するまで、正味の42.195kmのタイム)で3時間29分30秒と目標にしていたサブ3.5(3時間半切り)をギリギリ達成することができました。



30kmを過ぎてから疲労度が増し、途中何度も「歩きたい・ペースを落としたい」衝動に駆られましたが、目標達成を強く念じて走り切ることができました。

当日は社長も応援に駆けつけて下さり、とても勇気づけられました。レース後にタイムを見てみると社長に応援していただいた区間が最速ラップで、応援の力をあらためて肌で感じました。

東京マラソンのコンセプト「東京がひとつになる日。」のとおり、ボランティアの方、沿道で声援をくださった方、そして私たちランナーと、東京マラソンに携わった全ての方たちと本当にひとつになれた気がした一日でした。



レポート 島